

令和5年7月6日
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直 通：257-6972
--

令和5年度病害虫発生予察 注意報第1号

今後多発生が予想される水稻の斑点米カメムシ類の発生時期や発生量、防除上の注意事項について掲載します。

1 注意報の内容

病 害 虫 名：斑点米カメムシ類

(アカシガカシカメ、アカヒゲホソミドリカシカメ、シラホシカメムシ類、クモカメムシなど)

対 象 地 域：県内全域

水田侵入時期：7月中旬以降

発 生 量：多

2 注意報発表の根拠

- 1) 雑草地における斑点米カメムシ類の発生は、すくい取り調査による成虫数が8.3頭(平年値：9.0頭)で平年と同様に多い。
- 2) アカヒゲホソミドリカシカメ、シラホシカメムシ類、ホソハリカメムシ、コバネヒョウタンナガカメムシは、平年よりも多い。
- 3) 1か月の気象予報(令和5年6月29日付、新潟地方気象台発表)によると、7月の気温は平年に比べ高いと予想されており、今後、斑点米カメムシ類の増殖・活動が活発になると推測される。

3 防除上の注意事項

出穂7～10日後と14～17日後の2回の防除を徹底する。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止に留意する。